

平成28年度議会報告会の反省点について

項目	評価	良好な点	改善を要する点	改善案
全般	×	大きなトラブルもなく、和やかな雰囲気ですべて円滑に進行する事ができた。	一般市民の参加者が1名であり、開催意義を問われる結果となった。	開催する時間と場所を再考 社会人・女性層等の参加対象により日時を設定する必要がある。
開始時間	△	前回よりも1時間遅め19時からの開催としたため、都内で仕事をしている人でも参加しやすい時間帯になった。	都内から仕事終わりに来るには19時にすべきということで開始時間を遅らせたが、会社員の参加者が無かった。	(例) ・子育て中の主婦は日中 ・サラリーマンは夜間
場所	△	中央公民館は、駅からも比較的近く市の中心部に位置する場所である。	市の中心のため、市民が気軽に立ち寄れる状況になりにくい。	市内の各所で、場所を変えながら開催
内容	△	平成28年度当初予算についてのブリーフィングと意見交換は議員と市民の双方から情報を発信できて良かった。	議会報告のスライドは、初見の人が聞きながら目で追っていくには内容が多いように速いので理解しづらいのではないかとされた。 意見交換会のテーマを「施政方針」と指定したが、市民の意見はもう少し具体的な内容であった。	意見交換のテーマを指定せず、自由な意見交換を行う。
会場設営	○	当日は、1時間前に集合して会場の設営を行ったが、各担当が無駄なく動き、30分程度で設営を完了できた。	平成28年度当初予算の説明をした後に意見交換の流れは、参加者がいる前で机の配置を変えるのは、スマートさに欠ける印象を受けた。	当日の部屋を3か所押さえ、予め意見交換の会場を準備すればスムーズに移行できる。 意見交換のテーブル配置のままスタートしてもさほど問題はなかったのではないと思われる。
資料の作成	△	両委員会及び議会事務局が連携を図りながら資料の作成ができた。	予め準備した資料が大量に無駄になり、ペーパーレス化を図る必要を感じた。	当日の配布資料は次第とアンケート程度に止める。
その他	—	参加者が少ない—関心度が希薄と思われる。 議会報告会から市民が議会に関心を持てるような行事を計画してみても？ 場所を議事堂にして、市民に議席に座って記念撮影 意見交換は、議会棟内の会議室で行う、子供の同伴を可とする等 本末転倒ではあるが、全員参加による政治色を感じない客観的な事実の報告には魅力がないのではないか		

○今回は、市民との意見交換会を取り入れた初めての試みだったが、市民の参加が少なく残念だった。

○他市町村の行政職員や議員の方々から参加があり、情報交換ができたことは有意義だった。

○議会報告会が変わった、新たな試みを行っている、という印象が、市政にある程度関心のある市民にとっても希薄だった。(市民の皆さんからヒアリング)
市民に関心を持ってもらう形の報告会にしていくためには、より抜本的な改革が必要だと感じる。

○前半の予算審議の委員会報告はなくてよい。もしくは、審議上大きく問題になったことがあれば、その部分について説明するくらいでよいのではないか。

(説明資料については作成・配布し、持ち帰っていただくか、質問等ある場合は、ディスカッションの中で発言してもらえばよい、との意見もあった。)

○議会報告会を開催する目的を再考する。市民の意見を聴くことが目的であれば、より関心のあるテーマ設定を考えていくことが必要。一方的な報告では会場に足を運んでももらえない。どのような議会報告会を市民が望んでいるのか、議会報告会のあり方そのものを議論する場をつくってもいいかもしれない。

- ① 夕刻の報告会ということもあり、開催時間を変更した結果、逆に参加できない市民があったのではないかと。
- ② 意見交換会としたことは良かった。しかし、市民の参加が少なかったことについては考える必要がある。
- ③ 今後の取組として、和光市公共施設白書、公共施設等総合管理計画も作られているので、施設利用者（各団体）と意見交換をするのはどうか。
- ④ 「議会報告会」については継続するよりも、HPの充実で対応し、今後は意見交換会として市民との交流を図る方がよいのではないかと。

市民が2名という実態は大いに反省すべき点。
前回の「平日ならもう少し遅い時間にすべき」とのご意見を取り入れましたが、中高年にとっては早い方が良い、とご参加頂けませんでした。

ちょうど10回目の報告会を終えて、今後の開催のあり方を再検討する時期だと考えます。

開催日時については、土日の昼間が良いのでは。

意見交換会は行うべきと思います。

市民がいなかった文教厚生常任委員会では、視察でご参加の墨田区議団の方と別の意味での意見交換ができました。

報告会の成功へ、会派を超えて全議員が同じ思いで取り組む、この思いと行動が根底になれば議会改革は進まないと考えます。

全議員が役員の報告会ですので、集合時間を守る、役務に専念することは基本です。

平成 28 年 5 月 26 日

和光市議会議長 様

和光市議会議員 菅原 満
(会派 希 望)

平成 28 年 4 月 27 日開催 議会報告会の反省点

- ・インターネットでみると他の議会においても、議会報告会への参加者が少ない、または減少している、といったことが散見され、報告会のあり方について模索している様子が散見される。
- ・「議会の活動（議会審査の質疑答弁）」を知ってもらうという観点での報告会形式では、参加者を募ることが難しいのではないか。
- ・「テーマ」をいくつか決め、それについての意見交換を行うという方法を検討。
- ・団体などと個別に意見交換会を行うという形式を検討してみてもどうかと考える。
- ・平日・夜間開催ということで、集まりにくい面もあるのではないか。曜日、時間帯の設定を再検討してはどうかと考える。
- ・他の議会での「報告会のあり方」に関する検討状況について調査することも考えられる。

議会報告会の反省（平成28年4月開催）

小嶋 智子

- 1 市民の参加が非常に少なかった。
開催する時期、曜日、時間等を再検討する必要があると思います。
- 2 意見交換会では、席が遠い人の声が、聞き取りにくい時がありました。
参加人数が多くなると集まるテーブルも広くなり、更に声が届きにくくなると思われ、対応が必要だと感じました。

以上